

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	神奈川県県央北相地区における正期産無痛分娩後の母体・新生児搬送症例の後方視的検討 (B25-094)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部 産婦人科学(産科学) 教授 落合 大吾
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>本研究は、「安全な無痛分娩実施のための体制構築についての研究」令和7年度厚生労働科学特別研究事業 研究代表者：海野信也（北里大学名誉教授）において、「地域研究」としての研究協力し調査するものです。</p> <p>令和5年医療施設静態調査によると、出生数が減少し分娩取り扱い数が減少している中、無痛分娩の件数及び実施する施設の数が増加しています。無痛分娩は分娩所要時間の増加や吸引・鉗子分娩の増加等が生じるため、母体や胎児に悪影響を及ぼすことがあります。そのため、安全な無痛分娩を提供するために、医療機関や地域において整備すべき実現、持続可能な体制を改めて検討する必要があります。</p> <p>北里大学病院は三次施設であり、神奈川県県央北相地域(相模原市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町)の分娩取り扱い施設からの搬送を受けています。そのため当院では地域研究として、神奈川県県央北相地区の地域における実態調査を行うことを目的とします。</p> <p>つまり、県央北相地域の分娩取り扱い施設における無痛分娩の実施件数拡大に伴って、当院への搬送が増加したり、無痛分娩特有の問題点が生じていることが危惧されます。そこで、本研究では県央北相地域の分娩取り扱い施設における無痛分娩の導入状況および有害事象の発生状況について、①無痛分娩後の産褥搬送、②無痛分娩後の新生児搬送、によって検討することとしました。</p>
調査データ 該当期間	2020年1月1日から2024年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に県央北相地域の分娩取り扱い施設から①当院産科（母体）と②当院小児科（新生児）に搬送された方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2020年1月1日から2024年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究の遂行のための費用は「安全な無痛分娩実施のための体制構築についての研究」(令和7年度厚生労働科学特別研究事業)の研究費を使用します。</p> <p>研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部 産婦人科学(産科学) 助教 担 当 者：山崎 優(ヤマザキ ユウ) 電 話：042-778-8414</p>
<p>備 考</p>	